

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		平成17年度		根拠法令・例規等	備前市公有財産規則
事業開始年度					
総合計画	大項目	基本構想	06	行政「計画推進」	
計画	中項目	基本計画	10	計画を実現する行政	
	小項目	施策	46	市有財産の有効活用と適正な管理	
事務事業名	01	財産管理事業			
問	担当課(室)	財政課			
合	職・氏名	財産管理係長 河井 健治			
先	電話	0869-64-1811			
このシート作成に要した時間					1.5 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	財産管理係が所管する土地・建物を利用する方及び隣接地所有者	
目的(何のために)	市有財産の適正な維持管理並びに自主財源確保のための売却	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	長期間遊休地となっている市有地の処分を推進し、自主財源を確保する。	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	財産維持管理業務	普通財産(土地・建物)及び駅舎並びに公用車の維持管理業務 ・土地については、隣接地所有者並びに周辺住民への環境配慮として草刈り業務を実施 ・駅舎については、管理を委託して適正な管理に努めている。	◎
	財産貸付・売却業務	遊休地の貸付及び払い下げ業務並びにインターネットオークションによる不用品の売却を行い、自主財源の確保に努めている。	◎
	共済業務	賠償補償保険(公用車、施設、道路外)の加入等の事務及び保険請求事務を行っている。	○

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
	直接事業費	千円		22,558	16,898	19,046	
	必要人員費	人件費	千円	1.21人	0.84人	0.71人	
	事業費	計	千円	33,374	23,945	25,391	
	財源	国	支出金	千円	4,223		
		受	益者負担	千円	1,883	1,945	1,997
		繰	入金	千円			
		市	債	千円			
		その他()	千円				
		一	般財源	千円	27,268	22,000	23,394
	受	益者負担比率	%	5.6%	8.1%	7.9%	
結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績		
	財産収入額	説明	普通財産の売却による収入				
	結果指標量	件	7	9	8		
	対前年比	%	-	128.6%	88.9%		
	活動コスト	円	4,241,184	4,520,610	26,728,379		
単位当たりコスト	円	605,883	502,290	3,341,047			

事業の成果		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	年度	21,000	21,900	22,000	22,000
	目標値(A)				
	実績値(B)	23,643	21,408	44,409	到達目標値
達成率(B/A)		112.59%	97.75%	201.86%	24,000
成果指標設定の考え方・式や説明					
市有財産の財産貸付収入及び財産売却収入の増加による自主財源の確保					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低 低 高 B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低 低 高 B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低 低 高 B
有効性の評価	目的達成度		
	市民参画度		

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	公有財産台帳システムの整備を完成させ、売却可能資産を抽出して一般競争入札の実施が進むように準備を行います。また、不用品のインターネットオークションへも継続して出品し、自主財源の確保に努めます。						

総合評価		総合評価
普通財産の長期遊休地の一般競争入札が低調であることから、積極的な売却による自主財源の確保が重要であります。そのためにも公有財産台帳システムを計画どおり整備します。		総合評価 A B C D E 高や普通や低い や通やいい 高 低 低 高 B

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	公有財産台帳システムの完成による積極的な遊休資産の売却に努めます。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな